

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の意義・必要性について

内 容

- ①-1地下鉄7号線の意義・必要性について
- ①-2地下鉄7号線の意義・必要性について

①-1地下鉄7号線の意義・必要性について

地下鉄7号線延伸線の整備効果

○鉄道ネットワークの効果

混雑緩和

路線(区間)	混雑率
東武スカイツリーライン(小菅～北千住)	150%
京浜東北線(川口～赤羽)	176%
宇都宮線(土呂～大宮)	148%

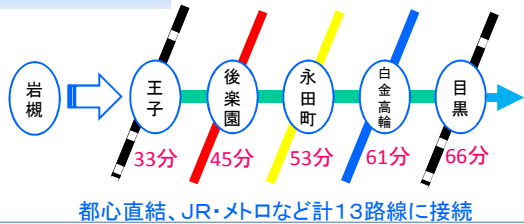
延伸により混雑緩和が期待される主な路線

リダンダンシー(代替路線)

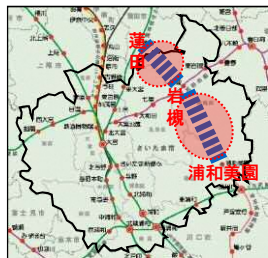


リダンダンシー(代替路線)のイメージ

利便性の向上



○高齢社会への対応



鉄道不便地域の解消
 『埼玉県鉄道網図』埼玉県HP

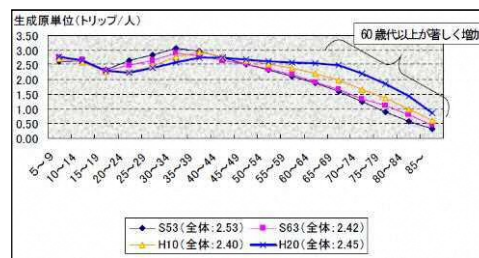
○高齢者の雇用割合の増加
 ⇒70歳以上の雇用企業20%以上

○2019年度以降、段階的な
 国家公務員の定年延長予定

○高齢運転者(70歳以上)の
 運転免許の自主返納推奨
 ⇒昨年度返納件数34万件
 (10年間で18倍)

※H30 パーソントリップ調査実施予定

社会情勢の変化



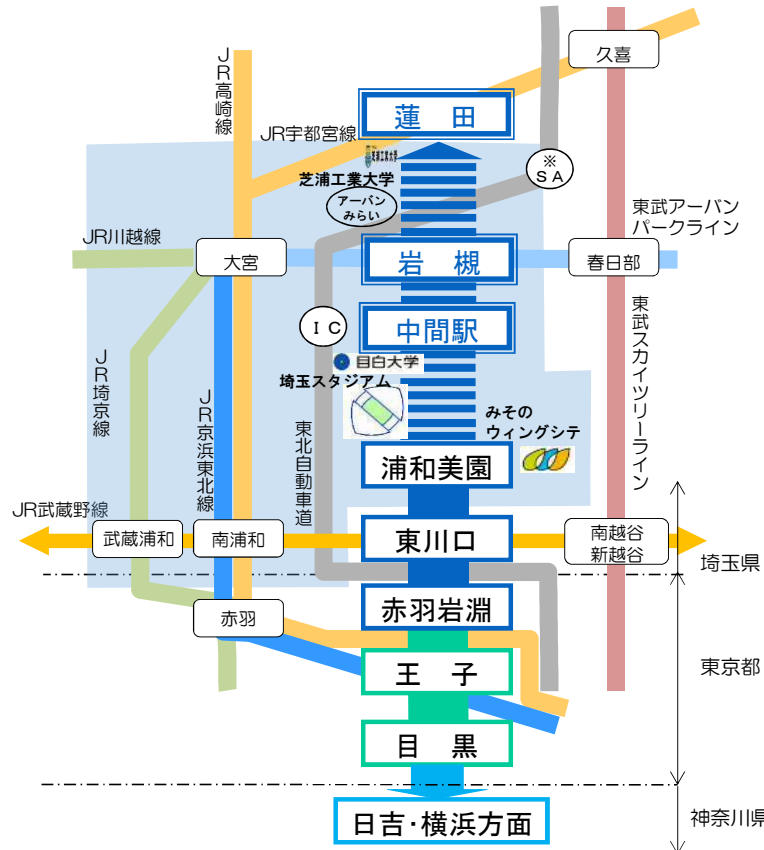
地下鉄7号線とは

東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線を併せた都心直結路線の総称

《特徴》

埼玉県・東京都・神奈川県に跨り、埼玉高速鉄道線、東京メトロ南北線、東急目黒線で相互直通運転を実施。

総延長: 47.8km(浦和美園～日吉)

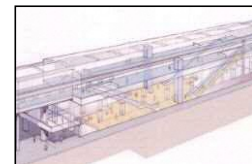


○まちづくりとの連携



岩槻エリア

歴史・文化を
 感じさせる副都心



中間エリア

まちづくりと鉄道
 整備の連携



浦和美園エリア

スポーツ、健康、環境・
 エネルギーをテーマと
 する副都心

延伸線がつなぐ沿線まちづくり

○高速道路と鉄道の連携



※蓮田スマートインター
 フル化に向け検討開始

岩槻地域との新たな連携

○環境負荷の軽減



交通機関別 CO2排出量の比較

国土交通省HP

①-2地下鉄7号線の意義・必要性について

地下鉄7号線の整備効果 ～埼玉県東部と都心とのアクセス～

沿線の主要な大学

No.	路線名	最寄駅	大学名
1	埼玉高速鉄道線	中間駅	目白大学
2		浦和美園	浦和大学
1	東京メトロ 南北線	本駒込	東洋大学
2		東大前	東京大学
3		後楽園	文京学院大学
4		後楽園	中央大学
5		飯田橋	法政大学
6		飯田橋	東京理科大学
7		四ツ谷	上智大学
8		永田町	城西大学
9		白金高輪	東海大学
10		白金台	明治学院大学
1	東急目黒線	大岡山	東京工業大学
2		日吉	慶応大学



東京ドーム



東京大学



目白大学



岩槻人形



飛鳥山公園



琦玉スタジアム2002

沿線の市街地再開発

No.	路線名	最寄駅	概要	竣工予定
1	東京 メトロ 南北線	飯田橋	オフィス、商業、住宅等の複合施設とともに、JR飯田橋駅のホーム移設と合わせ、駅前広場機能を合わせて作る予定	H34年度
2		四ツ谷	オフィス、商業、住居、教育、公益の複合ビル31階建て	H31年度
3		溜池山王	平成29年度「赤坂インターシティ AIR」オープン オフィス、商業、住宅の38階建て	H29年度
4		溜池山王	国立虎ノ門病院（19階建て）、業務棟（36階建て）	H36年度
5		六本木一丁目	平成28年度「六本木グランドタワー」オープン オフィス棟40階建て、住宅棟27階、 H30年度に六本木1丁目駅と直結予定	H28年度
6		六本木一丁目	国家戦略特区に指定し規制緩和を図る予定	未定
7		六本木一丁目	65階建てのA棟を始め、6つの街区で形成予定	H34年度
8		目黒	平成29年度 オフィス棟「目黒セントラルスクエア」、 住宅棟38階建て及び40階建て 竣工	H29年度
1	東急 目黒線	武蔵小山	住宅、商業、コミュニティ施設の40階建て	H31年度
2		武蔵小山	住宅、生活支援施設の41階建て	H33年度



東京工業大学



六本木ヒルズ



国会議事堂

